



生産性向上支援訓練 利用者の声



株式会社第一メカテック(埼玉県川口市) 様

利用コース(抜粋):

- 『DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進』
- 『IoT活用によるビジネス展開』、『AI(人工知能)活用』
- 『RPAを活用した業務効率化・コスト削減』
- 『ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合』

支援の流れ:

●課題・要望等

毎年、新入社員(10名程度採用)と2~3年目の若手社員を対象に、フィールドエンジニアとして必要な技術及び知識のインプットを目的に研修を受講させている。

製造からシステム提案、メンテナンス等幅広い事業展開をするため、IoT、AI等の技術革新に充分対応できる技術者の育成が重要であると考えている。また業務が多岐にわたっていることから、DXの推進・導入による業務の効率化についても喫緊の課題となっている。

●提案内容

若手社員が社内におけるDX推進に関わりながら、将来的に社内の基幹人材として活躍ができるよう「現場社員のための組織行動力向上」コースについても提案を行った。



第一メカテック 外観

【事業主の声】 事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆(満足度100%)

当社の事業内容は、射出成形機のメンテナンス、プラスチック表面処理及び加飾、溶接システムの製造及び販売、FA自動化装置等のシステム提案、エレクトロニクス関連メンテナンス)等、多岐にわたっている。幅広い事業展開が求められていることから、業務の効率化が求められており、令和4年4月、社内で「DX推進委員会」を発足、各事業部から委員を1~2名選出し、月1回のペースで、課題解決に向け横断的に取り組んでいる。

一例を挙げると、メンテナンススタッフの手配については、AIを使ったスケジューラーを自社用にカスタマイズしながら管理しているところであるが、サポートメンバーとして生産性訓練の受講者(採用2年目の社員)が受講後の成果を発揮すべく取り組みに関わっている。

RPAを活用した業務改善についても、事業部ごとに取り組んでいる。若手社員からベテラン層まで、全社を挙げてDXを推進し、生産性の向上を図るためにも、引き続き生産性訓練を受講していきたいと考えている。



常務取締役 濱田 様





生産性向上支援訓練 利用者の声



【受講者の声】受講者アンケート評価(満足度100%)

- ・RPAが引用するシナリオを知り、ロボパットの使い方を学んだことで、どの部署でどう適用できるかを見極め、実践できるようになった。
- ・IT化が進む中、業務ではなく作業にフォーカスするとAIを使える幅が広がることに気が付いた。
- ・身近な事例を通じて、AIの技術が顧客対応の現場で活用できることを知った。
- ・PDCAサイクルは、業務の流れが滞り始めたときにこそ、取り組むと効果的ではないかと感じた。繰り返すことで、生産性を上げていきたい。

